

第2回病院連絡会結果の概要（三島二次医療圏）②

2 将来のあるべき姿の到達度を測定する指標（案）・病床機能分化の方向性に対する見解

○将来のあるべき姿の到達度を測定する指標（案）については、病院連絡会において認識の共有を図った。

○病床機能分化の方向性に対する見解

- ・三島圏域は、将来の病床数の必要量（見込み）に現状でも近いことから、ある程度機能は担えている。そのため、基本的には、病床機能報告や病院プラン調査の結果を踏まえながら、現状の機能を維持・充実させていく方向でよいのではないかと見られる。
- ・隣接する豊能医療圏に高度急性期病院が充実していることや交通の便等様々な側面から地域医療を考え、圏域内外と連携していく必要がある。

3 公立病院・公的病院・民間等病院（2025年に向けて病床機能転換の予定のある病院・非稼働病床を有する病院・プランに将来の病床機能、病床の運用状況の報告がない病院）の一覧（三島二次医療圏）

区分	保健所	市町村	医療機関名	第2回病院連絡会出席状況	第2回病院連絡会プラン内容を修正報告	許可病床数（一般・療養）	2025年に向けた病床機能・病床数等の変更予定の有無										非稼働病床について（一般病床・療養病床）		2025年に向けた病床数等の変更、非稼働病床を有する理由の説明に対しての、当該病院に対する他病院からの意見				
							（転換数）高度急性期	（転換数）急性期	（転換数）回復期	（転換数）慢性期	（転換数）合計	介護医療院への転換	介護老人保健施設への転換	その他介護施設・福祉施設への転換	第2回病院連絡会以後の転換予定病床	機能変更（予定）時期	【プラン・連絡会での病院の説明】 具体的なプラン	非稼働病床数（許可病床数-稼働病床数）		【プラン・連絡会での病院の説明】 病床を稼働していない理由（非稼働病床を有する理由）			
2 公的	高槻市保健所	高槻市	大阪医科大学附属病院	○		822	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
2 公的	高槻市保健所	高槻市	高槻赤十字病院	○		446	0	▲16	0	0	▲16	0	0	0	0	0	○	未定	・地域の基幹医療として、がん、緩和ケア、糖尿病、災害医療等の診療機能を優先的に担いつつ、今後はアレルギー疾患診療も担っていく。 ・病院の新築検討に合わせて休床病床の活用等について検討中。	59	患者数減少等のため	-	
2 公的	高槻市保健所	高槻市	（社医）愛仁会高槻病院	○		477	17	▲17	0	0	0	0	0	0	0	0	○	2017年12月 2018年9月 2020年以降（予定）	・2017年12月に一般病棟7対1（急性期）3床をSCU（高度急性期/脳卒中ケアユニット）へ転換。2018年9月には、一般病棟7対1（急性期）3床をSCU（高度急性期/脳卒中ケアユニット）へ転換。（SCUは合計6床）さらに、2020年頃を目途に、一般病棟7対1（急性期）8床をHCU（高度急性期/ハイケアユニット）へ転換することを検討している。その他、2025年までに一般病棟7対1（急性期）3床をMFICU（高度急性期/総合周産期特定集中治療室（母体・胎児））への転換を計画している。 ・小児、周産期、小児救急、成人救急機能を優先し、地域の基幹となる医療、急性期医療を提供する病院として役割を果たしたい。 ・2018年11月に小児救命救急センターとして承認済み。	0		-	
2 公的	高槻市保健所	高槻市	（社医）仙養会北摂総合病院	○		217	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	-	・引き続き、がん治療・心血管疾患・救急医療等を優先し、今後は救急機能、がん診療等の強化を図り、急性期医療、サブアキュート機能により地域で基幹となる医療機能を提供する	0		-	
2 公的	茨木保健所	茨木市	（社福）恩賜財団 大阪府済生会茨木病院	○	○	315	▲2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	○	2018年8月	・HCU（高度急性期）4床をICU（高度急性期）2床、一般病棟7対1へ転換済み。 ・地域に根差した一般急性期、ポストアキュートの機能を担いながら、今後は災害にも力を入れていきたい。	0		-	
3 民間等	高槻市保健所	高槻市	（社医）愛仁会愛仁会リハビリテーション病院	○		225	0	0	42	▲3	39	0	0	0	0	0	○	2018年1月	・法人グループの再編（しんあい病院、しんあいクリニック）により、回復期機能（回復期リハビリ）を増床済み。 ・引き続き、リハビリテーション機能を担っていく。	0		-	
3 民間等	高槻市保健所	高槻市	（社医）愛仁会しんあい病院	○		60	0	▲60	40	0	▲20	0	0	0	0	0	○	2017年10月	・一般病棟15対1（急性期）をダウンサイジングの上、地域包括ケア病床（回復期）40床に変更済み。 ・地震の影響で病床の一部の受け入れを制限し、2018年11月末で全病床の受け入れを制限する予定。将来の再開を目指して建物の改修を計画中。	0		-	
3 民間等	高槻市保健所	高槻市	（医）庸愛会富田町病院	○		69	0	0	9	▲9	0	0	0	0	0	0	○	2021年～2023年頃	・在宅療養支援のための病床の役割分担を検討し、地域包括ケア病床（回復期）と障害者病棟（慢性期）の機能を分担。 ・今後はサブアキュート機能を中心に行う地域包括ケア病床と、「ときどき入院、ほほ在宅」を実践する慢性期病床を目指す。	0		-	
3 民間等	高槻市保健所	高槻市	（社医）祐生会みどりヶ丘病院	○		329	0	▲16	16	0	0	0	0	0	0	0	○	2018年2月	・2018年2月に一般病棟7対1（急性期）16床から地域包括ケア病床（回復期）への機能変更済み。今後、さらに地域包括ケア病床へ転換も検討している。 ・今後は脳神経リハを重点に置いたリハ病棟の建築、高度急性期・急性期機能を担う病院への建て替えを検討。	0		-	
3 民間等	茨木保健所	茨木市	（医）友誼会彩都友誼会病院	○	○	204	0	24	0	0	24	0	0	0	0	0	○	-	・引き続きがん専門病院として、サブアキュート、ポストアキュートの機能を維持し、がん緩和ケアの医療機能を担っていく。 ・地域への医療提供を充実させるため、病床利用率を上げていく。	24	病連携・病診連携のがん患者の急変や緊急入院患者の受け入れのために病床を確保しておく必要がある。	-	
3 民間等	茨木保健所	茨木市	（医）博愛会博愛茨木病院	○	○	144	0	▲24	24	0	0	0	0	0	0	0	○	2019年	・今後一般病棟15対1（急性期）24床を地域包括ケア病床（回復期）に機能変更予定。 ・サブアキュート、ポストアキュート、慢性期医療を中心に、糖尿病、がん、救急、災害医療機能等を担っていく。	19	患者数の減少による稼働数が低下しているが、災害時などの救急時のために、確保が必要。	-	
3 民間等	茨木保健所	茨木市	（医）友誼会友誼会総合病院	○		278	0	▲36	51	▲15	0	0	0	0	0	0	○	2018年9月	・新築移転し、一般病棟13対1・障害者病棟・特殊疾患病棟（急性期）36床、療養病床（慢性期）15床を回復期リハビリテーション病床に機能変更済み。 ・地域の基幹医療を担うため、急性期から慢性期までの医療機能において、救急、心血管、脳血管、糖尿病、災害等の医療機能を優先し、診療科を拡充予定。	9	救急搬送患者受け入れ病床の確保が必要のため。	-	
3 民間等	茨木保健所	島本町	（医）清仁会水瀬病院	○		117	0	▲17	17	0	0	0	0	0	0	0	○	2022年頃	・移転に際して、一般病棟10対1（急性期）17床を転換し、地域包括ケア病床（回復期）を増やす予定。 ・地域のかかりつけとして、サブアキュート、ポストアキュートを担う。	0		-	

【参考】三島二次医療圏全体の病床機能別検討状況

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
公立	0	0	0	0	0
公的	15	▲31	0	0	▲16
民間等	0	▲129	199	▲27	43
全体	15	▲160	199	▲27	27